

山形大学
大学院



大学院
案内
2018

社会文化システム研究科





社会文化システム研究科長
清 塚 邦 彦

研 究 科 長 の 挨拶

山形大学大学院社会文化システム研究科が学生定員12名の大学院修士課程としてスタートしたのは1997年4月ですから、今春、20年目を迎えました。

本研究科の教育課程は文化システムと社会システムの2つの専攻に分かれます。文化システム専攻では、人間科学・思想歴史論・国際文化論という三つの区分のもとで人文科学の教育を幅広く行い、他方の社会システム専攻では、公共システム・企業システム・国際システムという括りのもと、社会科学の多様な分野の教育を行っています。このように人文・社会科学の諸分野をもれなくカバーしながら、一人一人の院生の問題関心に配慮したきめ細やかな教育を行えるという点が、本研究科のいちばん基本的な特長です。

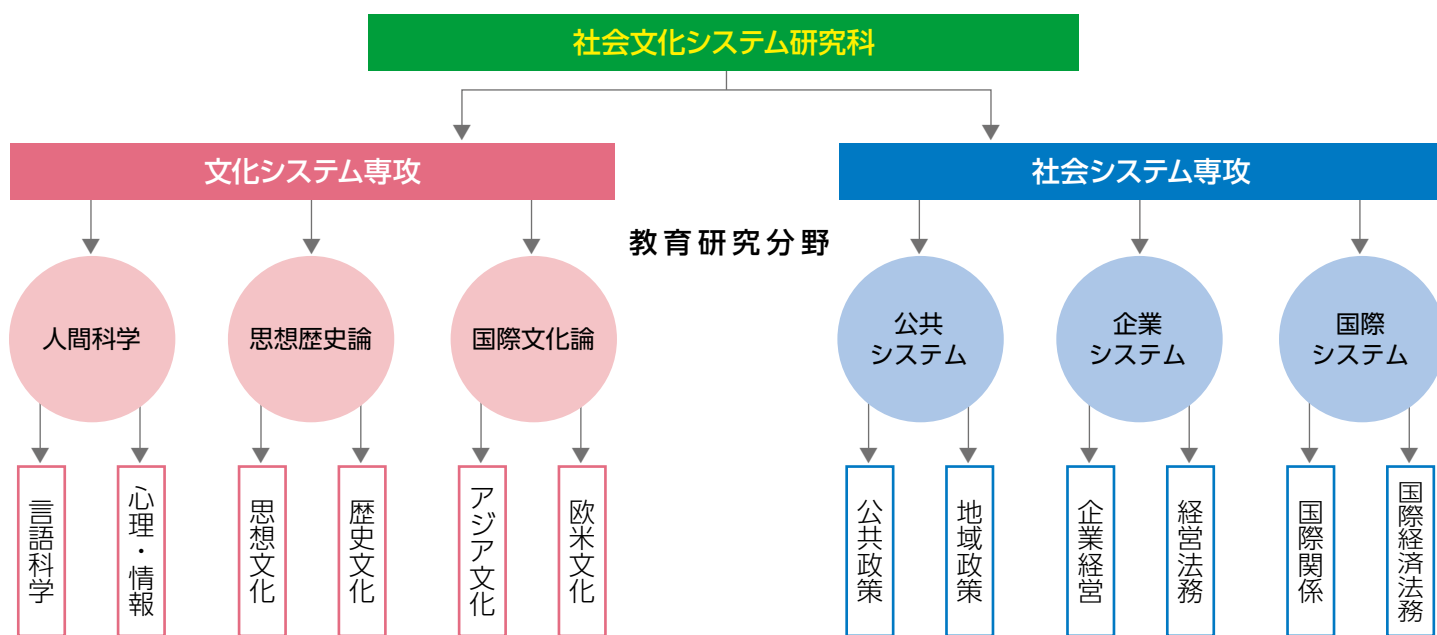
加えて、本研究科では現在、世界的に評価の高いアンデス研究をさらに発展させるための基盤として大学院教育をより充実させる方向で準備作業が進んでいて、H29年度入試はアンデス研究の拠点であるペルーでも実施しました。

履修方法の面でも、社会人に配慮し、夜間や土日の開講も含めた柔軟な時間割設定、履修期間に選択幅を持たせる長期履修制度の導入など、いろいろと細かい工夫を重ねてきました。さらに、研究環境の面では、院生研究室には無線LAN環境が整備され、学生個人用の机や共用のコピー機など研究設備も整っています。

多様な問題関心や出身背景を持った学生・社会人が集う本研究科で、みなさんが活発な知的討論を展開してくださることを願っています。

研究科の概要

社会文化システム研究科は、人間科学や思想歴史・国際文化を研究する「文化システム専攻」と、地域社会や国際社会の抱える諸問題と各種政策課題について研究する「社会システム専攻」の2つの専攻で構成されています。



研究科の基本理念

1. 人文科学・社会科学のシステムの・学際的な追究
……社会・文化を一つのシステムとしてとらえ、総合的に追究します。
2. 多彩なスタッフによる豊富で斬新な授業と教育指導
……200を超える講義・演習を、約80名の教員陣が責任をもって担当します。
3. マンツーマン教育によるきめ細かな研究支援態勢
……修士学位論文執筆に際して、指導教員による毎週の指導が必修となっています。
4. 学生個々の要望に応じた高度な職業人の育成
……たとえば情報処理、外国語などの実践的スキルを確実に身につけられます。
5. 地域社会との密接な連携の構築
……学生の受け入れや修了後の進路について、地域との関係を重視します。

履修方法と特長

- 必修科目……………特別研究Ⅰ・Ⅱ〈正副研究指導教員による修士学位論文の研究指導〉
- 共通科目……………情報処理実習、現代外国語(英語Ⅰ、英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語から選択)、調査の方法、プロジェクト演習Ⅰ、プロジェクト演習Ⅱ、プロジェクト演習Ⅲ、プロジェクト演習Ⅳ
(プロジェクト演習Ⅲ・Ⅳは文化システムのみ、調査の方法、プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱは社会システム専攻のみ)
- 選択必修科目・自由科目……………特論、特別演習〈専門以外の授業科目をも幅広く履修〉

《社会人の特例》

社会人学生の要望に応じて、授業時間帯を夜間などにも設定します。計画的に最長4年間で履修することができます。
特に認められた場合、課題報告書をもって修士学位論文に代えることができます。

企業人、公務員向けの実践的カリキュラム開設

政策立案能力、企画能力の養成(特例措置として、夜間・土曜日の開講も可能)

- 実地調査・研究の方法を学ぶ
- 政策法務、地域政策、労働問題などを学ぶ
- 東北創生研究所と連携した教育・研究

《専修免許状の取得》

中・高教諭一種免許状を有する場合は、所定の教科に関する科目の単位を修得することにより、当該の専修免許状を取得することができます。

《研究業績の刊行》

修士学位論文の概要は、学生の希望により、研究科の研究論文集に収録、公表されます。

入学者選抜方法

一般入試	専門科目・面接
社会人入試	口述試験
外国人留学生入試(出願資格別にA方式かB方式)	【A方式】専門科目・面接 【B方式】口述試験・日本語(日本語は文化システム専攻のみ)
推薦入試	面接
協定校(外国人留学生)推薦入試	書類審査(渡日前入試)

※以上の試験と、研究計画書など出願書類を総合して選抜します。※専門科目の内訳は専攻によって異なります。

奨学制度について

■入学金の免除・徴収猶予

下記の事由により入学金の納付が困難な場合に、願出により選考の上、入学金の全額または半額を免除する制度および入学金の徴収を一定期間猶予する制度があります。

- ①入学前1年以内において、本人の学費を主として負担している者(学資負担者)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学金の納付が著しく困難な場合
- ②経済的理由により入学金の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

■授業料の免除

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる者に、願出により選考の上、その期の授業料の全額または半額を免除する制度があります。

入学金・授業料の免除の出願方法などの詳細は、合格通知の際にお知らせします。

■奨学金制度

学業・人物共に優秀かつ健康で、経済的な理由により修学が困難と認められる場合には奨学金の貸与が受けられる場合があります。

ます。詳細は、以下の日本学生支援機構の例を参照してください。

日本学生支援機構の奨学金申請などの詳細は、合格通知の際にお知らせします。

日本学生支援機構の場合

貸与金額(月額)
第一種奨学金(無利子)
修士・博士前期課程……………50,000円又は88,000円
修士・博士後期課程……………80,000円又は122,000円
第二種奨学金(有利子)
大学院全課程……………
50,000・80,000・100,000・130,000・150,000円

※詳細は日本学生支援機構(<http://www.jasso.go.jp/>)をご確認ください。

修士学位論文題目一覧(平成27~28年度)

文化システム専攻

国際文化論分野

- ・戦後日本文学における戦争体験者の位相
- ・プロップ理論の考察ー日本の異類婚姻譚の分析を例にー
- ・東北地方における山下りんのアイコン

思想歴史論分野

- ・図像から見るナスカ社会ーナスカ期土器の図像研究からー
- ・鎌倉期女房における身分表象
- ・道徳法則の意識ー自惚れの打破としての尊敬ー

人間科学分野

- ・産出経験は学習者の会話にどんな影響を与えるのか
- ・冗長表現を手がかりとして
- ・Asymmetries in Phrase Structure between Bengali and English
- ・Voice Onset Time of Native and Non-native Speakers:
Case studies of chinese, Korean and Japanese Native Speakers

社会システム専攻

企業システム分野

- ・中国自動車市場における日本メーカー販売戦略の分析
- ・韓国民法制定に際しての付属法に関する一考察
ー不動産登録法を素材としてー
- ・リース取引に関する会計基準と財務情報の有用性分析
ー Skymark Airlines Inc. の事例を中心としてー

公共システム分野

- ・愛着の有無と保有期間が財への主観的評価に与える影響
- ・日本における医療機器産業の構造変化と地方圏への集積形成
- ・日本の鉄道における上下分離制度導入に関する一考察

国際システム分野

- ・地方国立大学の地域連携型インターンシップのあり方
ー山形大学実践教育プログラムにおけるインターンシップを事例としてー
- ・中国系銀行の海外進出の要因

社会文化システム研究科修了者の主な進路

企業

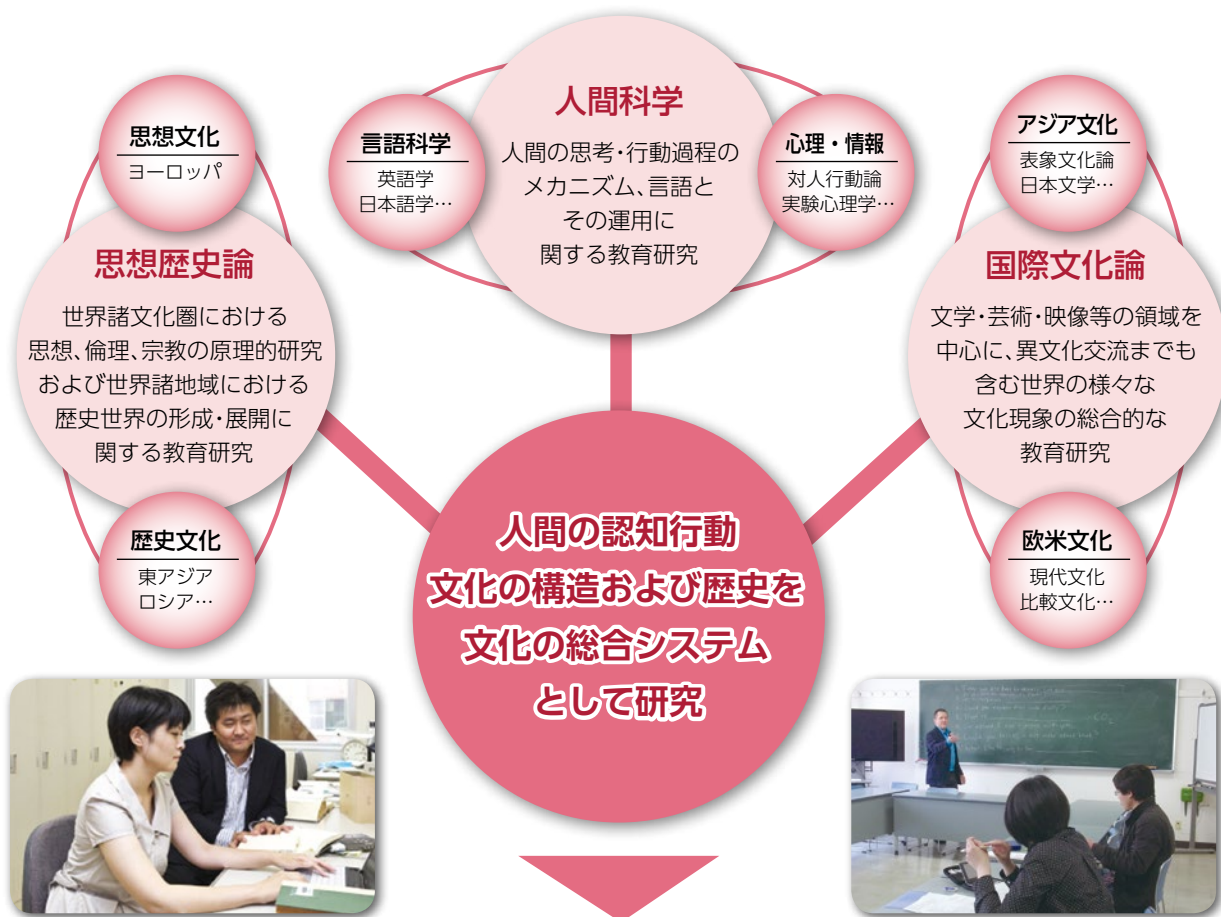
アルプス電気、伊藤忠エネクス、ウエノ、エム・エス・アイ、三誠、春秋航空日本、セブン銀行、大学生協東北連合会、タリーズコーヒージャパン、ニシムラ、日興コーディアル証券、農林中央金庫、日立東日本ソリューションズ、宮城交通、山形スリーエム、ヤマザワ薬品、ヤマト運輸

公務員 団体等

宮城県庁、山形市役所、酒田市役所、国立大学法人山形大学、山形県教員、愛知県教員、日本学生支援機構

進学

東北大学大学院、筑波大学大学院、新潟大学大学院、弘前大学大学院、お茶の水女子大学大学院、総合研究大学院大学、大東文化大学大学院



地域の文化活動の根幹となる専門的職業人の養成

- 現代の人間および社会・文化についてのより高度な専門的知識と理解力
- 社会の高度情報化に伴うテクノストレス・人間関係・メンタルヘルス等の問題に対応できる能力
- 高度な異文化理解能力と実践的なコミュニケーション能力
- 国際化に伴う文化的摩擦・軋轢に柔軟に対応できる能力
- 現代社会の高度化やその変動に対応しうる教育能力

履修モデル

1 年次
日本語意味論特論Ⅰ・言語学特論Ⅰ
日本語意味論特別演習・言語学特別演習
中国古典文化論特論Ⅰ・中国古代中世文化論特論Ⅰ
中国中世文化論特別演習(情報処理実習)(現代外国語)

2 年次
日本語意味論特論Ⅱ・言語学特論Ⅱ

【修士学位論文指導】言語科学特別研究Ⅰ・Ⅱ

【修士学位論文】「雑談の会話における話題展開についての日中対照研究」

1 年次
美学・芸術史特論Ⅱ・表象文化論(美学・芸術学)特論Ⅱ
フランス現代文化論特論Ⅱ・美学・芸術史特別演習
表象文化論(美学・芸術学)特別演習
フランス現代文化論特別演習(情報処理実習)(現代外国語)

2 年次
美学・芸術史特論Ⅰ・表象文化論(美学・芸術学)特論Ⅰ
フランス現代文化論特論Ⅰ

【修士学位論文指導】欧米文化特別研究Ⅰ・Ⅱ

【修士学位論文】「ドガの肖像画における花の表現をめぐる」



在学生からのメッセージ

秦 翔平さん 文化システム専攻2年

私は文化システム専攻に所属し、南米大陸のアンデス考古学、なかでもナスカ社会について学んでいます。日本ではアンデス考古学を学べる環境が限られている中で、よりよい環境が整った本大学院でさらに専門性を高めたいと思い進学しました。本研究科の講義は少人数の学生で構成されているので、個々の関心に柔軟に対応しながら非常に内容の濃い講義を受けることができます。議論を通して論理的に理解する力、伝える力を養うことも可能です。専門的な研究活動を行える環境に身を置きたいという方は大学院進学をお勧めします。



修了生からのメッセージ

浅野 董さん 平成28年度
文化システム専攻修了生

私は文化システム専攻に所属し、ロシアの昔話研究を日本の昔話に適用することが可能かどうか、ということを中心とした研究に取り組みました。院の授業は先生と受講内容を相談しながら進めていくことが多く、自分の研究テーマに関わる専門的な指導を受けることができます。私の場合、学部生時代の卒業論文で扱ったテーマとは全く異なるテーマで修士論文を書きました。学部の四年間で専攻以外の様々な分野に触れた中で、卒論で取り組んだテーマの他にも研究してみたいことがあるという方や、別の分野も広く学んでみたいという方も院への進学を考えてみてはいかがでしょうか。

文化システム教員一覧

人間科学／言語科学

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
富 田 かおる	英語音声学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	音声言語の音響音声学的分析
鈴 木 亨	英語語法論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	英語構文の文法制約と意味論
富 澤 直 人	英語学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	英語や日本語を中心とした対照統語論、意味論
渡 辺 文 生	日本語意味論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	現代日本語の文法、談話分析、語用論
中 澤 信 幸	日本語史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日本漢字音研究史、中国語音韻史、台湾語学
池 田 光 則	言語学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	歴史言語学、言語類型論、ゲルマン語学
アーウィン・マーク	歴史言語学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日本語音韻史、外来語
ライオン・スティーバン	異文化間コミュニケーション論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	英語教育、国際文化交流、異文化間コミュニケーション
小 泉 有紀子	心理言語学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日英語を中心とした言語の構造や意味の理解（文処理）
高 橋 真 彦	生成文法論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日本語を中心とした比較統語論

人間科学／心理・情報

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
佐 藤 香	対人行動論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	社会心理学、感情心理学、比較文化心理学
本 多 薫	人間情報科学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	情報科学、人間工学、生体情報のコンピュータ解析
大 杉 尚 之	実験心理学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	知覚情報処理、認知科学、実験心理学

思想歴史論／思想文化

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
清 塚 邦 彦	英米哲学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	現代の英米哲学、言語哲学・哲学的記号論

思想歴史論／歴史文化

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
松 尾 剛 次	日本中世史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	12～16世紀日本の宗教史、武士論、都市論
岩 田 浩太郎	日本近世史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	17～19世紀日本の社会経済史、地域史、豪農論、民衆運動史、経営史
吉 井 文 美	日本近代史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	1930年代東アジア国際関係史、日本外交史
新 宮 学	東アジア近世史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	明清社会経済史、中国都市史、北京史、日明交渉史
中 村 篤 志	北アジア史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	17～19世紀モンゴル史、遊牧社会史、清朝史
山 崎 彰	ドイツ史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	近代ドイツ史、近世ブランデンブルク史、近世ドイツ貴族史
坂 井 正 人	文化人類学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	文化人類学、アンデス考古学
松 本 雄 一	人類学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	アンデス考古学、人類学
十 川 陽 一	日本古代史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	7～9世紀を中心とした日本古代史、日中比較律令制研究

国際文化論／アジア文化

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
森 岡 卓 司	日本近現代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	近代小説における主体と他者の表象、戦後批評史
福 山 泰 男	中国古代中世文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	後漢末三国時代における諸言説の形成
西 上 勝	中国中世文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	漢語散文の文学的研究、中国の詩学
許 時 嘉	東アジア近現代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	近現代台湾文化史・文学史、植民イデオロギー研究
宮 腰 直 人	日本古代中世文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日本中世文学、古典文芸の受容および文化環境の研究
今 村 真 央	東南アジア文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	山地民と歴史叙述、宗教と近代
天 野 尚 樹	北東アジア文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	北東アジア国際関係史、サハリン島地域研究

国際文化論／欧米文化

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
伊 藤 豊	比較文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	アメリカンオリエンタリズムと日米文化交流史
佐 藤 清 人	英米近代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	19世紀英文学、アジア系アメリカ文学
中 村 隆	イギリス近現代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	19世紀イギリス文学、ディケンズ
渡 辺 将 尚	ドイツ現代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	20世紀ドイツ文学、両大戦間期・戦後ドイツ
相 澤 直 樹	ロシア文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	19世紀ロシア文学・文化、ツルゲーネフ
石 澤 靖 典	美術・芸術史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	イタリア・ルネサンス美術史、14～16世紀フィレンツェ文化
大久保 清 朗	表象文化理論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	映画史、映画理論
合 田 陽 祐	フランス文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	フランス・モダニズム、批評理論
宇 津 まり子	英米現代文化論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	19世紀アメリカ文学、ケイト・ショパン

※文化システム専攻の共通科目は次の科目です。

情報処理実習、現代外国語（英語Ⅰ、英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語）、プロジェクト演習Ⅲ、プロジェクト演習Ⅳ

社会システム専攻 SOCIAL SYSTEMS COURSE



地域で活躍する高度職業人の養成

- 現代の経済、法や政治、社会についてのより高度な専門知識と理解力
- 経済その他の社会環境の変化に対応する実践的法処理能力
- 国際化、情報化によって激変する地域経済環境に適応する企業経営能力
- 複雑化する行政ニーズに応える地域運営能力
- 地域社会の国際化に伴う諸問題を処理する能力
- 現代社会の諸変化を機敏に把握できる高度な教育能力

履修モデル

1 年次	国際関係論特論Ⅰ・国際関係論特別演習 比較政治学特論Ⅰ・比較政治学特別演習 国際政治特論Ⅰ・国際政治特別演習 (情報処理実習) (現代外国語)
2 年次	国際関係論特論Ⅱ・比較政治学特論Ⅱ・国際政治特論Ⅱ

【修士学位論文指導】国際関係特別研究Ⅰ・Ⅱ

【修士学位論文】「東アジアにおける環境レジーム形成」

1 年次	企業経営論特論Ⅱ・計量経済学特論Ⅱ 商法特論Ⅱ・企業経営論特別演習 計量経済学特別演習・管理会計特別演習 (情報処理実習) (現代外国語)
2 年次	比較会計学特論Ⅰ・管理会計特論Ⅰ 比較会計学特別演習

【修士学位論文指導】企業経営特別研究Ⅰ・Ⅱ

【修士学位論文】「のれんの計上と償却に関する一考察」



在学生からのメッセージ

西田 徹さん 社会システム専攻2年

私は、勤めてきた町役場の定年退職を機に、行政で携わってきたことのまとめや、自分が住んでいる地域の持つ潜在力に興味をひかれ、地域の良好な地域資源の活用策を研究することにより、交流がもたらす活性化や良好な資源の保全等、地域振興に繋がる成果が得られるものと考え、大学院に入学し学んでいます。

本研究科は定員が少なく、先生方とのマンツーマンの講義が受けられ、基本的な論点の整理や事例の紹介を受け、自分の経験も踏まえての先生方との議論といった密度の濃い授業を受けております。社会人入学は同期で3人ですが、それぞれが先生方との協議の下に、夜間や休日といった時間割など、生徒の意を酌んでいただけることは大変にありがたいと思っております。



修了生からのメッセージ

田川 友子さん 平成28年度
社会システム専攻修了生

私は、大学院早期履修プログラムを利用し、学部から大学院までを5年間で終えました。福島県の医療機器産業集積について研究をしました。

自分の研究に沿った丁寧な指導を受けることで専門性を高めることができる点が本研究の魅力だと思います。また、社会人や留学生など多様な人と学ぶことができました。

時間のマネジメントをしながら、研究でヒアリング調査に出かけたり、地域での活動に参加したり、研究だけでなく充実した生活を送ることができました。

社会システム教員一覧

公共システム／公共政策

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
中 島 宏	人権論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	フランスにおける信教の自由に関わる問題、特にセクト規制やスカーフ・ブルカ規制
西 岡 正 樹	刑法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	刑法学における責任論および刑罰論
高 倉 新 喜	刑事訴訟法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	刑事再審制度の歴史的意義と基本構造
是 川 晴 彦	公共経済学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	理論経済学、公共経済学
今 野 健 一	統治組織論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	憲法学、特にフランスを対象とした比較憲法史・憲法理論研究
田 北 俊 昭	社会経済システム特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	都市経済学、地域計画、地域ブランド戦略・経済、情報経済論
下 平 裕 之	イギリス経済学史特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	経済学史、特に19～20世紀イギリス貨幣理論・経済政策
金 子 優 子	行政学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	行政改革、Governance、行政の国際比較
戸 室 健 作	社会政策特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	雇用関係論、労働社会学
和泉田 保 一	行政法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	イギリス計画許可制度とわが国の自治体による開発統制制度の比較
川 村 一 義	公共政策学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	政治制度の立法政策への影響、議会の統合機能と合意形成
坂 本 直 樹	財政学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	財政学、地方財政論、費用便益分析
溜 川 健 一	マクロ経済学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	マクロ経済モデルを用いた政策シミュレーション分析
村 松 怜	経済政策論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	財政学、日本財政史
池 田 弘 乃	法哲学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	法哲学、フェミニズムと法、ジェンダー・セクシュアリティと法

企業システム／地域政策

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
伊 藤 晶 文	環境地理学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	地形発達、環境アセスメント
山 田 浩 久	都市計画特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	地域政策、土地評価
阿 部 晃 士	計量社会学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	教育・環境・地域における不平等、社会意識の計量分析
杉 野 誠	環境経済学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	環境経済学、環境政策、環境経営

企業システム／企業経営

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
洪 慈 乙	比較会計学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	財務会計、財務会計の概念的枠組みと財務諸表の体系
安 田 均	株式会社論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	経済原論、内部労働市場、法人資本主義
砂 田 洋 志	計量経済学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	ベイズ統計学を用いた経済現象の計量経済学的分析
鈴 木 明 宏	ゲーム理論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	協力ゲーム理論とその応用、社会・経済システムにおける先見の安定性
西 平 直 史	経営システム特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	システムのモデル構築とシミュレーション
柴 田 聡	企業経営論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	経営学、マクロ組織論
尻無濱 芳 崇	管理会計特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	管理会計、原価計算、介護・医療・非営利組織
吉 原 元 子	中小企業論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	中小企業経営、産業集積

企業システム／経営法務

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
高 橋 良 彰	民法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習Ⅰ	日本近代法史、民法、不動産登記法
小笠原 奈 菜	民法特論Ⅲ、特論Ⅳ、特別演習Ⅱ	民法(債権法)、消費者契約
阿 部 未 央	雇用関係法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	非正規雇用、雇用差別
藤 田 稔	競争政策特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	経済法、独占禁止法、アメリカ反トラスト法、競争政策
コーエンズ久美子	商法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	商取引法、金融取引法

国際システム／国際関係

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
高 橋 和	国際関係論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	国際関係論、特に冷戦後の地域協力及び東欧地域研究
松 本 邦 彦	国際政治特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	日本外交史、出入国管理政策、外国系移民政策
丸 山 政 己	国際組織法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	国際法、国際組織法
北 川 忠 明	現代政治論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	現代フランス政治の研究
星 野 修	比較政治学特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	政治思想史、特に20世紀ドイツ政治思想史
赤 倉 泉	現代中国政治特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	現代中国政治、毛沢東時代の政治、中国の民主化運動

国際システム／国際経済法務

教 員 名	授 業 科 目	主な研究領域及び関心領域
山 口 昌 樹	国際金融論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	アジアの国際金融市場、銀行のミクロ実証分析
亀 井 慶 太	国際経済論特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	国際貿易論、特に国際間における企業間競争が経済に及ぼす影響の分析
荒 井 太 郎	国際取引法特論Ⅰ、特論Ⅱ、特別演習	国際取引法

※社会システム専攻の共通科目は次の科目です。

情報処理実習、現代外国語（英語Ⅰ、英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語）、調査の方法、プロジェクト演習Ⅰ、プロジェクト演習Ⅱ



＝地域に根ざし、世界を目指す＝

山形大学大学院

社会文化システム研究科

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

◎問い合わせ先

023-628-4203(人文社会科学部事務室)
023-628-4709・4207(人文社会科学部学務担当・入試担当)
023-623-4128(就職担当)

※山形大学大学院社会文化システム研究科の最新情報は、
社会文化システム研究科ホームページ (<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/>) でご覧いただけます。

山形大学人文社会科学部
facebook ページ開設
いたしました！
ぜひご覧ください。

